

- model of asthma. *Int Arch Allergy Immunol* 2007, 143:255-262.
4. Miyazawa R, Tomomasa T, Kaneko H, Arakawa H, Morikawa A: Effect of formula thickened with reduced concentration of locust bean gum on gastroesophageal reflux. *Acta Paediatr* 2007, 96:910-914.
  5. Sugiyama M, Arakawa H, Ozawa K, Mizuno T, Mochizuki H, Tokuyama K, Morikawa A: Early-life risk factors for occurrence of atopic dermatitis during the first year. *Pediatrics* 2007, 119:e716-723.
  6. Suzuki T, Arakawa H, Mizuno T, Muramatsu K, Tadaki H, Takizawa T, Mochizuki H, Tokuyama K, Matsukura S, Morikawa A: Differential Regulation of Eotaxin Expression by Dexamethasone in Normal Human Lung Fibroblasts. *Am J Respir Cell Mol Biol* 2008.
  7. Wang J, Mochizuki H, Todokoro M, Arakawa H, Morikawa A: Does leukotriene affect intracellular glutathione redox state in cultured human airway epithelial cells? *Antioxid Redox Signal* 2008, 10:821-828.
- 学会発表  
有波
1. 西岡達二, 野口恵美子, 有波忠雄ら: プロテオームによる喘息炎症関連物質の同定. 第 55 回日本アレルギー学会秋季学術大会 盛岡 2005.
  2. 西村文親, 野口恵美子, 市川邦男, 有波忠雄, 柴崎正修: CD14 遺伝子プロモーター多型と喘息発症との関連解析およびメタアナリシス. 第 42 回日本小児アレルギー学会 福井 2005.
  3. 野口恵美子, 張劍, 有波忠雄, 柴崎正修: 4 番染色体連鎖領域の花粉症疾患感受性遺伝子の同定. 第 55 回日本アレルギー学会秋季学術大会 岩手.
  4. 野口恵美子, 柴崎正修, 有波忠雄ら: ロイコトリエンレセプター遺伝子と気管支喘息発症との関連解析. 第 50 回日本人類遺伝学会 山梨 2005.
  5. Aoki T, Shibasaki M, Arinami T, Noguchi E: Profiles of gene expression in stable and exacerbated childhood asthma. *Congress of the European Academy of Allergology and Clinical Immunology, Vienna, Austria* 2006.
  6. 青木健, 有波忠雄, 野口恵美子ら: 網羅的遺伝子発現解析による喘息関連遺伝子の同定. 第 56 回日本アレルギー学会秋季学術大会 東京 2006.
  7. 野口恵美子, 柴崎正修, 有波忠雄ら: 気管支喘息発症における候補遺伝子多型のメタアナリシス. 第 56 回日本アレルギー学会秋季学術大会 東京 2006.
  8. 榎本久子, 有波忠雄, 野口恵美子ら: 日本人アトピー性皮膚炎家系を用いた全ゲノム連鎖解析. 第 57 回日本アレルギー学会秋季学術大会 横浜 2007.
  9. 青木健, 牧野友香, 内田和彦, 有波忠雄, 野口恵美子, 藤枝重治ら: 網羅的

遺伝子発現解析による喘息および花粉症関連遺伝子の同定. 第 57 回日本アレルギー学会秋季学術大会 横浜 2007.

10. 牧野友香, 内田和彦, 有波忠雄, 野口恵美子, 藤枝重治ら: プロテオーム解析による花粉症関連タンパク質の同定. 第 57 回日本アレルギー学会秋季学術大会 横浜 2007.

#### 野口

1. Noguchi E, Arinami T: Positional identification of an asthma susceptibility gene on human chromosome 5q33. World Allergy Congress, Munchen 2005.
2. 西岡達二, 野口恵美子, 有波忠雄ら: プロテオームによる喘息炎症関連物質の同定. 第 55 回日本アレルギー学会秋季学術大会 盛岡 2005.
3. 西村文親, 野口恵美子, 市川邦男, 有波忠雄, 柴崎正修: CD14 遺伝子プロモーター多型と喘息発症との関連解析およびメタアナリシス. 第 42 回日本小児アレルギー学会 福井 2005.
4. 野口恵美子, 張剣, 有波忠雄, 柴崎正修: 4 番染色体連鎖領域の花粉尘疾患感受性遺伝子の同定. 第 55 回日本アレルギー学会秋季学術大会 岩手
5. 野口恵美子, 柴崎正修, 有波忠雄ら: ロイコトリエンレセプター遺伝子と気管支喘息発症との関連解析. 第 50 回日本人類遺伝学会 山梨 2005.
6. Aoki T, Shibasaki M, Arinami T, Noguchi E: Profiles of gene expression in stable and

exacerbated childhood asthma. Congress of the European Academy of Allergy and Clinical Immunology, Vienna, Austria 2006.

7. 青木健, 有波忠雄, 野口恵美子ら: 網羅的遺伝子発現解析による喘息関連遺伝子の同定. 第 56 回日本アレルギー学会秋季学術大会 東京 2006.
8. 野口恵美子: アレルギー疾患と遺伝. 第 43 回日本小児アレルギー学会 千葉 2006.
9. 野口恵美子: 喘息治療と Pharmacogenetics. 第 56 回日本アレルギー学会秋季学術大会 東京 2006.
10. 野口恵美子: 花粉症と遺伝. 臨床研セミナー 東京 2006.
11. 野口恵美子: アレルギー疾患の遺伝, 花粉症を中心に. 独立行政法人理化学研究所 花粉症研究シンポジウム 東京 2006.
12. 野口恵美子, 柴崎正修, 有波忠雄ら: 気管支喘息発症における候補遺伝子多型のメタアナリシス. 第 56 回日本アレルギー学会秋季学術大会 東京 2006.
13. 榎本久子, 有波忠雄, 野口恵美子ら: 日本人アトピー性皮膚炎家系を用いた全ゲノム連鎖解析. 第 57 回日本アレルギー学会秋季学術大会 横浜 2007.
14. 青木健, 牧野友香, 内田和彦, 有波忠雄, 野口恵美子, 藤枝重治ら: 網羅的遺伝子発現解析による喘息および花粉症関連遺伝子の同定. 第 57 回日本アレルギー学会秋季学術大会 横浜

- 2007.
15. 藤本政弥, 野口恵美子ら: 全ゲノム関連解析による気管支喘息疾患感受性遺伝子の同定 第 57 回日本アレルギー学会秋季学術大会 横浜 2007.
  16. 牧野友香, 内田和彦, 有波忠雄, 野口恵美子, 藤枝重治ら: プロテオーム解析による花粉症関連タンパク質の同定. 第 57 回日本アレルギー学会秋季学術大会 横浜 2007.
- 玉利  
学会発表
1. 玉利真由美, 広田朝光: 遺伝子解析からみた喘息重症化. 第 55 回日本アレルギー学会秋季学術大会 盛岡 2005.
  2. Tamari M: Functional Haplotypes of IL-12B are associated with childhood atopic asthma. Keystone symposia, Allergy, Allergic Inflammation and Asthma. 「Impact of Genes and Environment on Allergy and Allergic Inflammation. Keystone symposia, Allergy, Allergic Inflammation and Asthma, Colorado 2006.
  3. 井上寛規, 鈴木洋一, 玉利真由美ら: C3 遺伝子と気管支喘息との相関. 第 56 回日本アレルギー学会秋季学術大会 東京 2006.
  4. 鎌田文顕, 鈴木洋一, 玉利真由美ら: GSTP1 遺伝子多型と気管支喘息との相関. 第 55 回日本アレルギー学会秋季学術大会 盛岡 2006.
  5. 玉利真由美ら: 気管支喘息の遺伝要因と薬剤の効果について. 第 56 回日本アレルギー学会秋季学術大会 東京 2006.
  6. 原田通成, 広田朝光, 玉利真由美: 喘息感受性の候補遺伝子 TSLP の SNP を用いたケース・コントロール関連解析. 第 56 回日本アレルギー学会秋季学術大会 東京 2006.
  7. 広田朝光, 原田通成, 玉利真由美: ADAM33 と日本人成人気管支喘息の遺伝子多型の相関解析. 第 56 回日本アレルギー学会秋季学術大会 東京 2006.
  8. 谷口正実, 玉利真由美ら: 微生物の病原性とアレルギー性の 2 面性—マイコプラズマとアスペルギルスを中心に—. 第 56 回日本アレルギー学会秋季学術大会 東京 2006.
  9. 鈴木洋一, 玉利真由美ら: 日本人の小児喘息, 成人喘息の感受性遺伝子. 第 56 回日本アレルギー学会秋季学術大会 東京 2006.
  10. Tamari M: San Francisco Functional Polymorphism in the Suppressor of Cytokine Signaling 1 (SOCS1) Gene Associated with Adult Asthma. The American Thoracic Society's International Conference 2007.
  11. Tamari M: Polymorphisms of RIG-I are associated with adult bronchial asthma. Annual meeting of American Society of Human Genetics, San Diego 2007.
  12. 玉利真由美: SNP から疾患遺伝子解

- 明へ アレルギー体質と感染症、SNPsを使ったアプローチ. 独立行政法人 理化学研究所 遺伝子多型研究センターシンポジウム 東京 2007.
13. 玉利真由美: 気管支喘息の遺伝要因と薬剤の効果について. 第 19 回藤沢市内科医学会 横浜 2007.
  14. 玉利真由美: アレルギー性疾患の最新の研究から患者教育まで. 第 17 回小児気道アレルギー研究会 2007.
  15. 玉利真由美: アレルギー体質と遺伝子多型について アレルギー性鼻炎治療研究会第 7 回セミナー 東京 2007.
  16. 玉利真由美: 遺伝子多型を用いた気管支喘息の病態解析. 第 26 回大和アレルギー研究会 奈良 2007.
  17. 玉利真由美ら: 成人スギ花粉症の疫学および遺伝学的解析-福井大学におけるボランティア1042人の検討-. 第 19 回日本アレルギー学会春季臨床大会 横浜 2007.
  18. 玉利真由美ら: SOCS1 遺伝子多型と成人気管支喘息発症との相関. 日本人類遺伝学会第 52 回大会 東京 2007.
  19. 坂下雅文, 玉利真由美, 藤枝重治ら: 成人スギ花粉症の遺伝背景についての解析. 第 57 回日本アレルギー学会秋季学術大会 横浜 2007.
  20. 玉利真由美: アレルギー疾患と感染症. 中国地区上気道アレルギー研究会 広島 2008.
  21. 玉利真由美: 遺伝子多型を用いたアレルギー疾患の病態解析. 第 26 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会 大阪 2008.
- 藤枝
1. 意元義政, 藤枝重治ら: スギ花粉症患者におけるスパイロメトリー検査. 第 55 回日本アレルギー学会秋季学術大会 盛岡 2005.
  2. 高橋昇, 藤枝重治ら: スギ花粉症に対する舌下免疫療法の有効性についての検討. 第 55 回日本アレルギー学会秋季学術大会 盛岡 2005.
  3. 坂下雅文, 藤枝重治ら: スギ花粉症における咳症状のアンケート集計. 第 55 回日本アレルギー学会秋季学術大会 盛岡 2005.
  4. 山田武千代, 藤枝重治ら: B<sub>L</sub>Y<sub>S</sub> 誘導 Ig クラススイッチについて. 第 17 回日本アレルギー学会春季臨床大会 岡山 2005.
  5. 大澤陽子, 伊保澄子, 藤枝重治: 花粉症に対する DNA ワクチン療法. 第 55 回日本アレルギー学会秋季学術大会 盛岡 2005.
  6. 藤枝重治: 類似する上気道疾患病態の理解—鼻過敏症とアレルギー性鼻炎—. 第 55 回日本アレルギー学会秋季学術大会 盛岡 2005.
  7. 高橋昇, 山田武千代, 藤枝重治: 鼻線維芽細胞における siRNA トランスフェクションによる免疫刺激性についての検討. 第 24 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会 三重 2006.
  8. 高橋昇, 藤枝重治ら: 二重盲検比較試験によるスギ花粉症舌下免疫療法の効果の検討 (平成 18 年版). 第 56

- 回日本アレルギー学会秋季学術大会  
東京 2006.
9. 山田武千代, 高橋昇, 藤枝重治: 口蓋扁桃由来線維芽細胞における B<sub>L</sub>yS 発現. 第 24 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会 三重 2006.
  10. 山田武千代, 藤枝重治, 高橋昇: Chimeric fusion protein immunotherapy. 第 18 回日本アレルギー学会春季臨床大会 東京 2006.
  11. 大澤陽子, 伊保澄子, 藤枝重治: ヒト形質細胞様樹状細胞における Interferon regulatory factor-7 の活性化. 第 56 回日本アレルギー学会秋季学術大会 東京 2006.
  12. 藤枝重治: アレルギー疾患合併例へのアプローチ:耳鼻咽喉科領域. 第 18 回日本アレルギー学会春季臨床大会 東京 2006.
  13. 藤枝重治: 治療ガイドラインに沿った季節性アレルギー性鼻炎の治療効果について. 第 56 回日本アレルギー学会秋季学術大会 東京 2006.
  14. 高橋昇, 鈴木弟, 藤枝重治: 環境化学物質と鼻アレルギー. 第 57 回日本アレルギー学会秋季学術大会 横浜 2007.
  15. 坂下雅文, 玉利真由美, 藤枝重治ら: 成人スギ花粉症の遺伝背景についての解析. 第 57 回日本アレルギー学会秋季学術大会 横浜 2007.
  16. 青木健, 牧野友香, 内田和彦, 有波忠雄, 野口恵美子, 藤枝重治ら: 網羅的遺伝子発現解析による喘息および花粉症関連遺伝子の同定. 第 57 回日本アレルギー学会秋季学術大会 横浜 2007.
  17. 藤枝重治: スギ花粉症に対する治療:抗ヒスタミン薬の大規模試験から舌下免疫療法まで. 第 57 回日本アレルギー学会秋季学術大会 横浜 2007.
  18. 牧野友香, 内田和彦, 有波忠雄, 野口恵美子, 藤枝重治ら: プロテオーム解析による花粉症関連タンパク質の同定. 第 57 回日本アレルギー学会秋季学術大会 横浜 2007.
- 内田
1. 牧野友香, 内田和彦, 有波忠雄, 野口恵美子, 藤枝重治ら: プロテオーム解析による花粉症関連タンパク質の同定. 第 57 回日本アレルギー学会秋季学術大会 横浜 2007.
  2. 内田和彦: 非標識定量 2D-LC MALDI-TOF MS による低分子量プロテオミクス解析. 第 4 回千葉疾患プロテオミクス研究会、千葉 2007.
  3. 内田和彦: オミックス医療を支える基盤構築に向けて—臨床プロテオミクスを支える基盤構築に向けて. 第 4 回ゲノム・オミックス医療情報シンポジウム、東京 2007.
  4. 青木健, 牧野友香, 内田和彦, 有波忠雄, 野口恵美子, 藤枝重治ら: 網羅的遺伝子発現解析による喘息および花粉症関連遺伝子の同定. 第 57 回日本アレルギー学会秋季学術大会 横浜 2007.
- 斎藤
1. Saito H: Role of innate immune

- system in asthma. Symposium "Pediatric Asthma" 5th Asian Pacific Association of Pediatric Allergy, Respiriology and Immunology Seoul, Korea 2005.
2. Saito H: Heterogeneity of mast cells. Symposium "Mast Cells in Action". World Allergy Organization Congress, Munich, Germany 2005.
  3. 斎藤博久: マスト細胞と好塩基球に関するコンセプトの変遷. 第 17 回日本アレルギー学会春季臨床大会 岡山 2005.
  4. 斎藤博久: マイクロアレイ法によるアレルギー疾患新規診断マーカーの探索 II シンポジウム アレルギー疾患の新規診断マーカー. 第 52 回日本臨床検査医学会総会 福岡 2005.
- 鈴木
1. 井上寛規, 鈴木洋一, 玉利真由美ら: C3 遺伝子と気管支喘息との相関. 第 56 回日本アレルギー学会秋季学術大会 東京 2006.
  2. 鎌田文顕, 鈴木洋一, 玉利真由美ら: GSTP1 遺伝子多型と気管支喘息との相関. 第 55 回日本アレルギー学会秋季学術大会 盛岡 2006.
  3. 鈴木洋一, 玉利真由美ら: 日本人の小児喘息, 成人喘息の感受性遺伝子. 第 56 回日本アレルギー学会秋季学術大会 東京 2006.
  4. 井上寛規, 真下陽一, 鈴木洋一ら: MMP9 遺伝子と小児アトピー患児における花粉症発症との相関解析. 第 57 回日本アレルギー学会秋季学術大会 横浜 2007.
5. 井上祐三朗, 下条直樹, 鈴木洋一ら: RSV 細気管支炎発症と IL-8, IL-17F, RANTES 遺伝子多型. 第 57 回日本アレルギー学会秋季学術大会 横浜 2007.
  6. 鈴木洋一ら: 血清 IgE 値に影響を与える環境要因と遺伝的要因とその相互作用の検討 第 19 回日本アレルギー学会春季臨床大会 横浜 2007.
- 柴崎
1. 西村文親, 野口恵美子, 市川邦男, 有波忠雄, 柴崎正修: CD14 遺伝子プロモーター多型と喘息発症との関連解析およびメタアナリシス. 第 42 回日本小児アレルギー学会 福井 2005.
  2. 野口恵美子, 張剣, 有波忠雄, 柴崎正修: 4 番染色体連鎖領域の花粉尘疾患感受性遺伝子の同定. 第 55 回日本アレルギー学会秋季学術大会 岩手
  3. 野口恵美子, 柴崎正修, 有波忠雄ら: ロイコトリエンレセプター遺伝子と気管支喘息発症との関連解析. 第 50 回日本人類遺伝学会 山梨 2005.
  4. 野口恵美子, 柴崎正修, 有波忠雄ら: 気管支喘息発症における候補遺伝子多型のメタアナリシス. 第 56 回日本アレルギー学会秋季学術大会 東京 2006.
- 荒川
1. Arakawa H, Morikawa A: Dexamethasone exhibits dual response to expression and production of eotaxin in the lung

- fibroblast. . Eur Respiratory Society, Copenhagen 2005.
2. Morikawa A, Arakawa H: Signal transducers and activators of transcription 6 (Stat6) variants in children and adult asthma. 2005. 7 World Allergy Congress, Munchen 2005.
  3. 荒川浩一ら: 小児アトピー性皮膚炎の皮膚バリア機能障害に対するタクロリムス軟膏の効果. 第 17 回日本アレルギー学会春季臨床大会 岡山 2005.
  4. 水野隆久, 荒川浩一ら: 乳児アトピー性皮膚炎発症因子に関する前方視的検討. 第 17 回日本アレルギー学会春季臨床大会 岡山 2005.
  5. 鈴木僚子, 荒川浩一ら: 正常ヒト肺線維芽細胞における Eotaxin 発現に対するデキサメサゾンの影響とその分子メカニズムの検討. 第 17 回日本アレルギー学会春季臨床大会 岡山 2005.
  6. 荒川浩一ら: 乳児反復性喘鳴発症に係わる因子の前方視的検討. 第 18 回日本アレルギー学会春季臨床大会 東京 2006.
  7. 荒川浩一ら: 乳児期におけるアレルギー性疾患発症予知. 第 56 回日本アレルギー学会秋季学術大会 東京 2006.
  8. 小林靖子, 荒川浩一ら: IL-12p35 遺伝子転写調節領域のメチル化の検討. 第 56 回日本アレルギー学会秋季学術大会 東京 2006.
  9. 荒川浩一: 気道炎症の評価の実際と問題点. 第 16 回小児気道アレルギー研究会(シンポジウム) 東京 2007.
  10. 荒川浩一: 脂質メディエーターと小児アレルギー疾患、2007.3.17.東京. 第 4 回東日本メディエーター研究会(シンポジウム) 東京 2007.
  11. 荒川浩一ら: 小児喘息治療における薬剤の組み合わせ. 第 19 回日本アレルギー学会春季学術集会(シンポジウム)、横浜 2007.
  12. 荒川浩一ら: 増悪を来たす外因:小児. 第 27 回六甲カンファレンス (シンポジウム)、京都 2007.
  13. 荒川浩一ら: 気道上皮細胞の粘液分泌に対するインターフェロンの影響とその機序の検討. 第 57 回日本アレルギー学会秋季学術大会 横浜 2007.
- H. 知的所有権の出願・取得状況
1. 野口恵美子、有波忠雄、藤枝重治ら 特願 2008-053768 アレルギー疾患の治療薬且つ治療効果のマーカー 出願人 国立大学法人福井大学、国立大学法人筑波大学 出願日 平成 20 年 3 月 4 日
  2. 玉利真由美ら TSLP 遺伝子の多型に基づく免疫疾患の検査法 整理番号 P-C 6 1 1 3 4 国際特許分類 G 0 1 N 3 3 / 5 0

研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Akahoshi M, その他 19 名, Tamari M, Shirakawa T	Functional promoter polymorphism in the TBX21 gene associated with aspirin-induced asthma	Hum Genet	117	16-26	2005
Arinami T, Ohtsuki T, Ishiguro H, ら	. Genomewide high-density SNP linkage analysis of 236 Japanese families supports the existence of schizophrenia susceptibility loci on chromosomes 1p, 14q, and 20p.	Am J Hum Genet	77	937-944	2005
Hirota T, Suzuki Y, Hasegawa K, Obara K, Matsuda A, Akahoshi M, Nakashima K, Cheng L, Takahashi N, Shimizu M, Doi S, Fujita K, Enomoto T, Ebisawa M, Yoshihara S, Nakamura Y, Kishi F, Shirakawa T, Tamari M	Functional haplotypes of IL-12B are associated with childhood atopic asthma	J Allergy Clin Immunol	116	789-795	2005
Hyo S, Fujieda S, Kawada R, Kitazawa S, Takenaka H:	The efficacy of short-term administration of 3 antihistamines vs placebo under natural exposure to Japanese cedar pollen	Ann Allergy Asthma Immunol	94	457-464	2005



Matsuda A, Hirota T, Akahoshi M, Shimizu M, Tamari M, Miyatake A, Takahashi A, Nakashima K, Takahashi N, Obara K, Yuyama N, Doi S, Kamogawa Y, Enomoto T, Ohshima K, Tsunoda T, Miyatake S, Fujita K, Kusakabe M, Izuhara K, Nakamura Y, Hopkin J, Shirakawa T	Coding SNP in tenascin-C Fn-III-D domain associates with adult asthma	Hum Mol Genet	14	2779-2786	2005
Narita N, Fujieda S, Tokuriki M, Takahashi N, Tsuzuki H, Ohtsubo T, Matsumoto H	Inhibition of histone deacetylase 3 stimulates apoptosis induced by heat shock under acidic conditions in human maxillary cancer	Oncogene	24	7346-7354	2005
Narita N, Yamada T, Imoto Y, Ogi K, Sakashita M, Ito Y, Kouraba S, Yasuta M, Tsuzuki H, Fujieda S	Treatment of scattered glass foreign bodies in both the superficial and deep neck: a case report	Auris Nasus Larynx	32	295-299	2005
Noguchi E, Yokouchi Y, Zhang J, Shibuya K, Shibuya A, Bannai M, Tokunaga K, Doi H, Tamari M, Shimizu M, Shirakawa T, Shibasaki M, Ichikawa K, Arinami T	Positional identification of an asthma susceptibility gene on human chromosome 5q33	Am J Respir Crit Care Med	172	183-188	2005
Okumura S, Sagara H, Fukuda T, Saito H, Okayama Y	FcepsilonRI-mediated amphiregulin production by human mast cells increases mucin gene expression in epithelial cells	J Allergy Clin Immunol	115	272-279	2005

Saito H	Much atopy about the skin: genome-wide molecular analysis of atopic eczema	Int Arch Allergy Immunol	137	319-325	2005
Saito H	Abe J, Matsumoto K: Allergy-related genes in microarray: an update review	J Allergy Clin Immunol	116	56-59	2005
Shimizu M, Matsuda A, Yanagisawa K, Hirota T, Akahoshi M, Inomata N, Ebe K, Tanaka K, Sugiura H, Nakashima K, Tamari M, Takahashi N, Obara K, Enomoto T, Okayama Y, Gao PS, Huang SK, Tominaga S, Ikezawa Z, Shirakawa T	Functional SNPs in the distal promoter of the ST2 gene are associated with atopic dermatitis	Hum Mol Genet	14	2919-2927	2005
Spok A, Gaugitsch H, Laffer S, Pauli G, Saito H, Sampson H, Sibanda E, Thomas W, van Hage M, Valenta R	Suggestions for the assessment of the allergenic potential of genetically modified organisms	Int Arch Allergy Immunol	137	167-180	2005
Takahashi N, Akahoshi M, Matsuda A, Ebe K, Inomata N, Obara K, Hirota T, Nakashima K, Shimizu M, Tamari M, Doi S, Miyatake A, Enomoto T, Nakashima H, Ikezawa Z, Shirakawa T	Association of the IL12RB1 promoter polymorphisms with increased risk of atopic dermatitis and other allergic phenotypes	Hum Mol Genet	14	3149-3159	2005
Tsuzuki H, Sunaga H, Ito T, Narita N, Sugimoto C, Fujieda S	Reliability of platelet-derived endothelial cell growth factor as a prognostic factor for oral and oropharyngeal carcinomas	Arch Otolaryngol Head Neck Surg	131	1071-1078	2005

Zhang J, Noguchi E, Migita O, Yokouchi Y, Nakayama J, Shibasaki M, Arinami T	Association of a haplotype block spanning SDAD1 gene and CXC chemokine genes with allergic rhinitis	J Allergy Clin Immunol	115	548-554	2005
玉利真由美	遺伝子多型と喘息遺伝子-喘息の個別化医療をめざして	International Review of Asthma	7	54-63	2005
玉利真由美	SNPsを用いた全ゲノム領域における気管支喘息関連遺伝子の解明	医学のあゆみ	207	208-212	2005
広田朝光, 赤星光輝, 松田彰, 清水麻貴子, 小久保美紀, 関口寛史, 中島加珠子, 玉利真由美, 岸文雄, 白川太郎	Toll-like receptor (TLR)とアレルギー疾患	Medical Science Digest	31	329-330	2005
広田朝光, 赤星光輝, 松田彰, 清水麻貴子, 中島加珠子, 岸文雄, 玉利真由美	アレルギー関連の SNP 解析	臨床検査	49	749-756	2005
荒川浩一, 森川昭廣	乳幼児喘息と学童喘息の病態、およびその差異	アレルギー科	19	106-112	2005
斎藤博久	アレルギー炎症疾患病態に関するエピジェネティクス	日本小児アレルギー学会雑誌	19	729-736	2005
斎藤博久	遺伝子チップを用いた臨床免疫研究の最前線	日本臨床免疫学会雑誌	28	67-72	2005
村松礼子, 荒川浩一	小児アトピー性皮膚炎	アレルギー科	20	142-147	2005
中島加珠子, 広田朝光, 赤星光輝, 松田彰, 清水麻貴子, 小原和彦, 玉利真由美	アレルギーの遺伝要因	臨床検査	49	707-714	2005
野口恵美子	家系内で発症しやすい気管支喘息の遺伝子型と表現型 連鎖解析による気管支喘息疾患発症関連遺伝子探索	カレントセラピー	23	63-66	2005

野口恵美子	喘息と遺伝学 その歴史と最近 の話題	International Review of Asthma	7		2005
Aoki T, Hirota T, Tamari M, Ichikawa K, Takeda K, Arinami T, Shibasaki M, Noguchi E	An association between asthma and TNF-308G/A polymorphism: meta-analysis	J Hum Genet	51	677-685	2006
Cheng L, Hirota T, Enomoto T, Tamari M, Akahoshi M, Matsuda A, Shimizu M, Takahashi N, Enomoto K, Yamasaki A, Mao XQ, Hopkin JM, Shirakawa T	Lack of association between the IL13 variant Arg110Gln and susceptibility to cedar pollinosis in a Japanese population	Int Arch Allergy Immunol	139	25-30	2006
Fan GK, Xu F, Yang B, Fujieda S	p57(kip2) expression is related to carcinogenesis and tumor progression in laryngeal tissues	Acta Otolaryngol	126	301-305.	2006
Fukuda Y, Koga M, Arai M, Noguchi E, Ohtsuki T, Horiuchi Y, Ishiguro H, Niizato K, Iritani S, Itokawa M, Arinami T	Monoallelic and unequal allelic expression of the HTR2A gene in human brain and peripheral lymphocytes	Biol Psychiatry	60	1331-1335	2006
Hirota T, Hasegawa K, Obara K, Matsuda A, Akahoshi M, Nakashima K, Shirakawa T, Doi S, Fujita K, Suzuki Y, Nakamura Y, Tamari M	Association between ADAM33 polymorphisms and adult asthma in the Japanese population	Clin Exp Allergy	36	884-891	2006
Ishikawa T, Miwa M, Uchida K	Quantitation of thyroid peroxidase mRNA in peripheral blood for early detection of thyroid papillary carcinoma	Thyroid	16	435-442	2006

Nakashima K, Hirota T, Obara K, Shimizu M, Doi S, Fujita K, Shirakawa T, Enomoto T, Yoshihara S, Ebisawa M, Matsumoto K, Saito H, Suzuki Y, Nakamura Y, Tamari M	A functional polymorphism in MMP-9 is associated with childhood atopic asthma	Biochem Biophys Res Commun	344	300-307	2006
Nakashima K, Hirota T, Obara K, Shimizu M, Jodo A, Kameda M, Doi S, Fujita K, Shirakawa T, Enomoto T, Kishi F, Yoshihara S, Matsumoto K, Saito H, Suzuki Y, Nakamura Y, Tamari M	An association study of asthma and related phenotypes with polymorphisms in negative regulator molecules of the TLR signaling pathway	J Hum Genet	51	284-291	2006
Nakashima K, Hirota T, Suzuki Y, Akahoshi M, Shimizu M, Jodo A, Doi S, Fujita K, Ebisawa M, Yoshihara S, Enomoto T, Shirakawa T, Kishi F, Nakamura Y, Tamari M	Nakashima K, Hirota T, Suzuki Y, Akahoshi M, Shimizu M, Jodo A, Doi S, Fujita K, Ebisawa M, Yoshihara S, Enomoto T, Shirakawa T, Kishi F, Nakamura Y, Tamari M	Allergol Int	55	77-83	2006
Nishimura F, Shibasaki M, Ichikawa K, Arinami T, Noguchi E	Failure to find an association between CD14-159C/T polymorphism and asthma: a family-based association test and meta-analysis	Allergol Int	55	55-58	2006
Noguchi E, Ohtsuki Y, Tokunaga K, Yamaoka-Sageshima M, Ichikawa K, Aoki T, Shibasaki M, Arinami T	ADAM33 polymorphisms are associated with asthma susceptibility in a Japanese population	Clin Exp Allergy	36	602-608	2006

Osawa Y, Iho S, Takauji R, Takatsuka H, Yamamoto S, Takahashi T, Horiguchi S, Urasaki Y, Matsuki T, Fujieda S	Collaborative action of NF-kappaB and p38 MAPK is involved in CpG DNA-induced IFN-alpha and chemokine production in human plasmacytoid dendritic cells	J Immunol	177	4841-4852	2006
Shiroishi M, Kuroki K, Ose T, Rasubala L, Shiratori I, Arase H, Tsumoto K, Kumagai I, Kohda D, Maenaka K	Efficient leukocyte IG-like receptor signaling and crystal structure of disulfide-linked HLA-G dimer	J Biol Chem			2006
Shiroishi M, Kuroki K, Tsumoto K, Yokota A, Sasaki T, Amano K, Shimojima T, Shirakihara Y, Rasubala L, van der Merwe PA, Kumagai I, Kohda D, Maenaka K	Entropically driven MHC class I recognition by human inhibitory receptor leukocyte Ig-like receptor B1 (LILRB1/ILT2/CD85j)	J Mol Biol	355	237-248	2006
Takahashi N, Yamada T, Narita N, Fujieda S	Double-stranded RNA induces production of RANTES and IL-8 by human nasal fibroblasts	Clin Immunol	118	51-58	2006
Tanaka T, Furukawa T, Fujieda S, Kasamatsu S, Yonekura Y, Fujibayashi Y	Double-tracer autoradiography with Cu-ATSM/FDG and immunohistochemical interpretation in four different mouse implanted tumor models	Nucl Med Biol	33	743-750	2006

Thuwajit C, Thuwajit P, Uchida K, Daorueang D, Kaewkes S, Wongkham S, Miwa M	Gene expression profiling defined pathways correlated with fibroblast cell proliferation induced by <i>Opisthorchis viverrini</i> excretory/secretory product	World J Gastroenterol	12	3585-3592	2006
Tsuzuki H, Takahashi N, Kojima A, Narita N, Sunaga H, Takabayashi T, Fujieda S	Oral and oropharyngeal squamous cell carcinomas expressing CCR7 have poor prognoses	Auris Nasus Larynx	33	37-42	2006
Zhang J, Migita O, Koga M, Shibasaki M, Arinami T, Noguchi E	Determination of structure and transcriptional regulation of CYSLTR1 and an association study with asthma and rhinitis	Pediatr Allergy Immunol	17	242-249	2006
玉利真由美, 広田朝光	ミレニアムプロジェクトの成果	International Review of Asthma	8	106-112	2006
広田朝光, 原田通成, 玉利真由美	呼吸器疾患におけるプロテオミクス解析の現状と将来, 気管支喘息のプロテオミクス解析	呼吸と循環	54	1305-1309	2006
山田武千代, 高橋昇, 藤枝重治	ヒト IgE クラススイッチ抑制による治療戦略	アレルギー科	21	381-387	2006
山田武千代, 高橋昇, 藤枝重治	BLyS と免疫グロブリンクラススイッチ	臨床免疫	45	85-90	2006
山田武千代, 高橋昇, 藤枝重治	鼻粘膜由来線維芽細胞における RANTES・Eotaxin 制御	アレルギー・免疫	13	30-37	2006
山田武千代, 高橋昇, 藤枝重治	鼻由来線維芽細胞による B 細胞の制御	日鼻誌	45	42-44	2006
山田武千代, 森繁人, 高橋昇, 窪誠太, 藤枝重治:	鼻アレルギーにおけるリモデリング	アレルギー・免疫	13	9-15	2006
藤枝重治	花粉症に対する新しい治療法	臨床検査	50	194-202	2006
藤枝重治	CpG-DNA によるワクチン療法	アレルギー科	21	255-261	2006
藤枝重治	鼻過敏症とアレルギー性鼻炎	アレルギー科	21	395-403	2006

藤枝重治, 小島章弘, 窪誠太	鼻ポリープ形成のメカニズム	アレルギーの臨床	25	261-266	2006
藤枝重治, 大澤陽子	鼻過敏症に含まれるアレルギー性鼻炎	臨床免疫・アレルギー科	46	424-428	2006
野口恵美子	花粉症の遺伝的背景	臨床検査	50	139-144	2006
野口恵美子	花粉症は遺伝するのか? 花粉症と周辺アレルギー疾患	診断と治療社		151-153	2006
Enomoto H, Noguchi E, Iijima S, Takahashi T, Hayakawa K, Ito M, Kano T, Aoki T, Suzuki Y, Koga M, Tamari M, Shiohara T, Otsuka F, Arinami T	Single nucleotide polymorphism-based genome-wide linkage analysis in Japanese atopic dermatitis families	BMC Dermatol	7	5	2007
Hamajima Y, Fujieda S, Sunaga H, Yamada T, Moribe K, Watanabe N, Murakami S	Expression of Syk is associated with nasal polyp in patients with allergic rhinitis	Auris Nasus Larynx	34	49-56	2007
Harada M, Nakashima K, Hirota T, Shimizu M, Doi S, Fujita K, Shirakawa T, Enomoto T, Yoshikawa M, Moriyama H, Matsumoto K, Saito H, Suzuki Y, Nakamura Y, Tamari M	Functional Polymorphism in the Suppressor of Cytokine Signaling 1 Gene Associated with Adult Asthma	Am J Respir Cell Mol Biol	36	491-496	2007



Hatsushika K, Hirota T, Harada M, Sakashita M, Kanzaki M, Takano S, Doi S, Fujita K, Enomoto T, Ebisawa M, Yoshihara S, Sagara H, Fukuda T, Masuyama K, Katoh R, Matsumoto K, Saito H, Ogawa H, Tamari M, Nakao A	Transforming growth factor-beta(2) polymorphisms are associated with childhood atopic asthma	Clin Exp Allergy	37	1165-1174	2007
Ishizaki K, Yamada A, Yoh K, Nakano T, Shimohata H, Maeda A, Fujioka Y, Morito N, Kawachi Y, Shibuya K, Otsuka F, Shibuya A, Takahashi S	Th1 and type 1 cytotoxic T cells dominate responses in T-bet overexpression transgenic mice that develop contact dermatitis	J Immunol	178	605-612	2007
Kamada F, Mashimo Y, Inoue H, Shao C, Hirota T, Doi S, Kameda M, Fujiwara H, Fujita K, Enomoto T, Sasaki S, Endo H, Takayanagi R, Nakazawa C, Morikawa T, Morikawa M, Miyabayashi S, Chiba Y, Tamura G, Shirakawa T, Matsubara Y, Hata A, Tamari M, Suzuki Y	The GSTP1 gene is a susceptibility gene for childhood asthma and the GSTM1 gene is a modifier of the GSTP1 gene	Int Arch Allergy Immunol	144	275-286	2007

Matsuda A, Ebihara N, Kumagai N, Fukuda K, Ebe K, Hirano K, Sotozono C, Tei M, Hasegawa K, Shimizu M, Tamari M, Namba K, Ohno S, Mizuki N, Ikezawa Z, Shirakawa T, Hamuro J, Kinoshita S	Genetic polymorphisms in the promoter of the interferon gamma receptor 1 gene are associated with atopic cataracts	Invest Ophthalmol Vis Sci	48	583-589	2007
Mayuzumi H, Ohki Y, Tokuyama K, Sato A, Mizuno T, Arakawa H, Mochizuki H, Morikawa A	Age-related difference in the persistency of allergic airway inflammation and bronchial hyperresponsiveness in a murine model of asthma	Int Arch Allergy Immunol	143	255-262	2007
Miyatake A, Fujita M, Nagasaka Y, Fujita K, Tamari M, Watanabe D, Nakano N, Hidari KI, Suzuki Y	The new role of disodium cromoglycate in the treatment of adults with bronchial asthma	Allergol Int	56	231-239	2007
Miyazawa R, Tomomasa T, Kaneko H, Arakawa H, Morikawa A	Effect of formula thickened with reduced concentration of locust bean gum on gastroesophageal reflux	Acta Paediatr	96	910-914	2007
Onouchi Y, Tamari M, Takahashi A, Tsunoda T, Yashiro M, Nakamura Y, Yanagawa H, Wakui K, Fukushima Y, Kawasaki T, Nakamura Y, Hata A	A genomewide linkage analysis of Kawasaki disease: evidence for linkage to chromosome 12	J Hum Genet	52	179-190	2007
Shimazui T, Ami Y, Yoshikawa K, Uchida K, Kojima T, Oikawa T, Nakamura K, Honda N, Hinotsu S, Miyazaki J, Kunita N, Akaza H	Prediction of in vitro response to interferon-alpha in renal cell carcinoma cell lines	Cancer Sci	98	529-534	2007

Sugiyama M, Arakawa H, Ozawa K, Mizuno T, Mochizuki H, Tokuyama K, Morikawa A	Early-life risk factors for occurrence of atopic dermatitis during the first year	Pediatrics	119	e716-723	2007
Uchida K	Gene expression profiling for biomarker discovery. In BioArrays: From Basics to Diagnostics edited by Appasani, K Humana Press, Totowa	NJ		95-106	2007
Yagi H, Tokano H, Maeda M, Takabayashi T, Nagano T, Kiyama H, Fujieda S, Kitamura K, Sato M	Vlgr1 is required for proper stereocilia maturation of cochlear hair cells	Genes Cells	12	235-250	2007
Yano Y, Kamma H, Matsumoto H, Fujiwara M, Bando H, Hara H, Yashiro T, Ueno E, Ito K, Uchida K	Growth suppression of thyroid cancer cells by adenylcyclase activator	Oncol Rep	18	441-445	2007
玉利真由美, 広田朝光, 原田通成	気管支喘息の遺伝要因と薬剤の効果について、遺伝子多型を用いた病態解析	藤沢市内科医学会雑誌	49	41-45	2007
玉利真由美, 広田朝光, 原田通成	増悪をきたす内因とその予防	第27回六甲カンファレンス		23-30	2007
玉利真由美, 広田朝光, 原田通成	喘息関連遺伝子の探索	分子呼吸器病	12	83-85	2007
玉利真由美, 広田朝光, 原田通成	アレルギー疾患発症における遺伝要因と感染の関与	アレルギー免疫	15	134-140	2007
広田朝光, 原田通成, 玉利真由美	NSAIDs 過敏症, NSAIDs 過敏症と遺伝子多型	アレルギーの臨床	27	184-187	2007
山田武千代, 窪誠太, 藤枝重治	IgE 抗体産生と B 細胞のシグナル	アレルギー・免疫	14	159-167	2007
山田武千代, 高橋昇, 藤枝重治	シグナル伝達系に対するアレルギー性鼻炎の治療	アレルギーの臨床	27	42-47	2007

大澤陽子, 伊保澄子, 藤枝重治	花粉症に対する DNA ワクチン療法	アレルギーの臨床	27	965-969	2007
大澤陽子, 高橋昇, 藤枝重治	舌下免疫療法	Medical Science Digest	33	940-944	2007
藤枝重治, 山田武千代, 小島章弘	スギ花粉症における第2世代抗ヒスタミン薬の臨床効果	日鼻誌	46	18-28	2007
藤枝重治, 上山尚子, 漆崎誉子, 吉田真主美, 竹内繁美	粘膜下鼻甲介骨切除術	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	79		2007
野口恵美子	喘息の薬理遺伝学	International Review of Asthma	9	56-65	2007
野口恵美子	喘息治療における pharmacogenetics	臨床免疫・アレルギー科	47	664-669	2007
野口恵美子	アレルギー疾患の遺伝要因	日本小児アレルギー学会雑誌	21	69-74	2007
Hirota T, Harada M, Sakashita M, Doi S, Miyatake A, Fujita K, Enomoto T, Ebisawa M, Yoshihara S, Noguchi E, Saito H, Nakamura Y, Tamari M 子	Genetic polymorphism regulating ORM1-like 3 ( <i>Saccharomyces cerevisiae</i> ) expression is associated with childhood atopic asthma in a Japanese population	J Allergy Clin Immunol	121	769-770	2008
Matsumoto K, Tamari M, Saito H	Involvement of eosinophils in the onset of asthma	J Allergy Clin Immunol	121	26-27	2008
Nishioka T, Uchida K, Meno K, Ishii T, Aoki T, Imada Y, Makino Y, Hirata K, Matsumoto Y, Arinami T, Noguchi E	Alpha-1-antitrypsin and complement component C7 are involved in asthma exacerbation	Proteomics Clin Appl	2	46-54	2008